

伐倒(Batto)は山の管理の中で重要な作業です。
伐倒後の更新から保育まで、どのように次世代の森林をつくり、守るのか…。
森林づくりの第一歩となる作業、それが伐倒(Batto)です。

Batto(バットウ)山が、われらのフィールド

発行/2019年3月(第5号)

発行元/熊本県農林水産部森林局林業振興課

委託/(公財)熊本県林業従事者育成基金

制作/Produce:(有)クレッシエント
熊本市中央区辛島町6-2ベアレントビル501
Chief-Producer 木下 慎太郎

Production:(同)ピースリボン
熊本市中央区新大江2丁目8-18
北田 尚

Production:しゃもじ
熊本市中央区八王寺町7-8(みなし仮設)
内田 保知

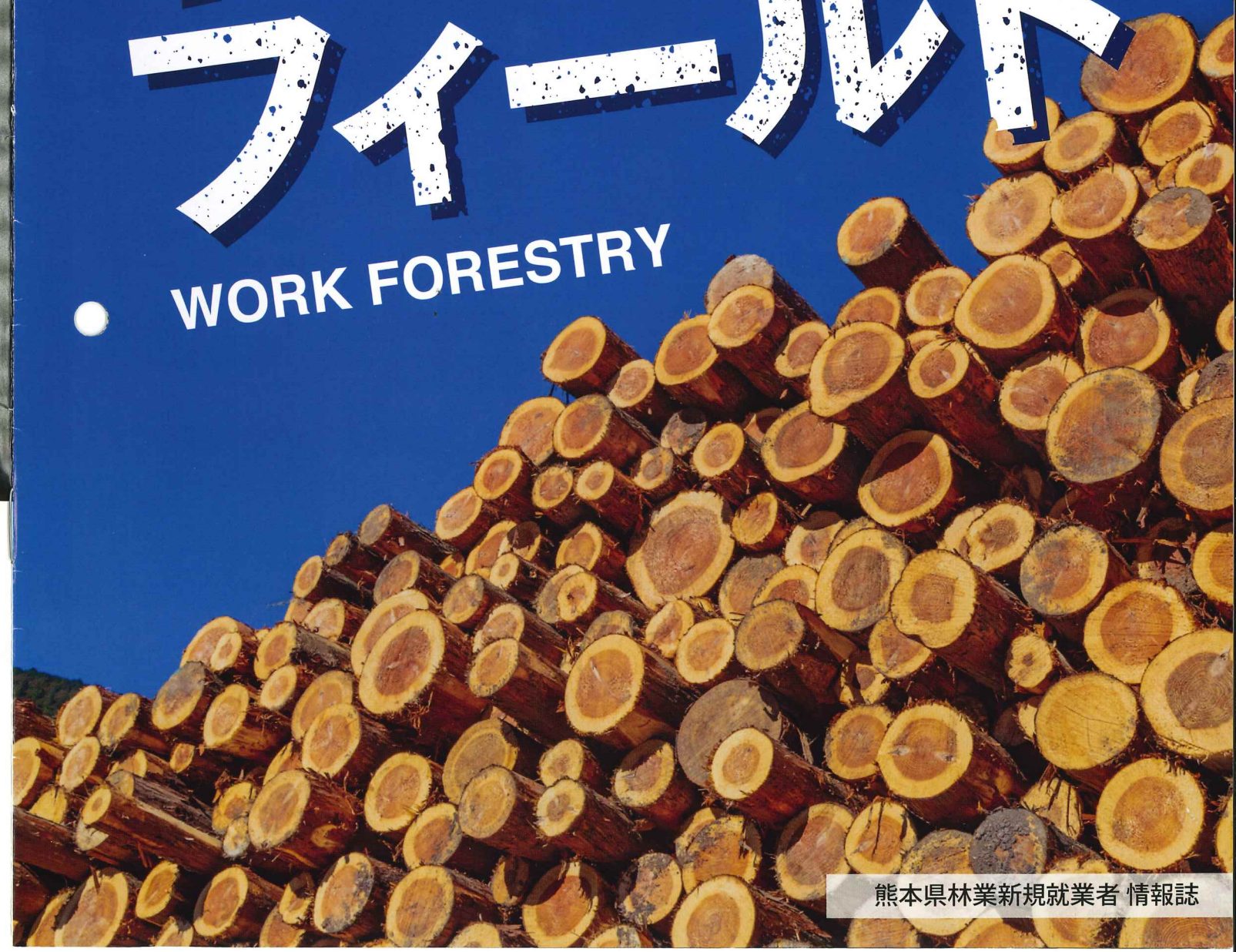
Reporter:吉田 庄太郎 紫垣 英道

Photo:紫垣 英道

Editor:北田 尚 内田 保知

山が、われらのフィールド

WORK FORESTRY



1年を通して需要のある仕事 技術を身に付け後継を育てる立場に

自営で畜産業が規模を縮小したので時間が作れるようになり、同級生に本格的に誘われてやってみようと思いました。小さいころから父親と一緒に山に入って手伝っていたので、森林や山に抵抗はなく、森林の中での作業も好きでした。実際に仕事として従事してみて、移動距離の多さや体力的なもの、暑さなど辛い部分もありますが、仕事の成果が認められた時にはやりがいを感じ、また1年を通して四季の変化を肌で感じ素晴らしい景色の美しさに触れられることは山の仕事の魅力です。これから新しく従事する人たちの為にも、早くアドバイスできるような技術を身に付けていきたいと思えます。



(株)森営社
古閑 英治 さん(45)

森林保全に興味があり林業の道へ 山仕事の後の清々しさにやりがい

以前は作物の仲卸の仕事をしていました。森林の保全に興味があり、山がもっと健全なものに成ったらいいなと思っていた所、友人から誘いがありアルバイトを経験。体力的に疲れるかなと思いましたが、山の中での仕事がすごく清々しい気持ちになりました。事業体から未経験者のキャリアアップ支援の「緑の雇用」に誘われたこともあり林業に従事することにしました。仕事は体力が必要ですが、事業体の皆さんが優しく、また自然の中で仕事ができる気持ちよさもあり、やりがいを感じています。先輩からの様々な視点からのアドバイスを確認しながら、早く一人で山の仕事ができるようになりたいです。



梅本林業
富田 有花 さん(49)

非日常の風景に出会い 好奇心が掻き立てられ刺激になる

自宅にある竹林の伐採を経験したが、父親の実家がみんな林業をしており、話を聞いていたら興味が出てきました。大学では経営学を勉強していたのですが、あまり面白くなく自分には合わず、興味をもった林業に就くことにしました。仕事を始めたことで周りの景色、見方が変わっていくのを感じています。体を動かすのが好きなので体力がついていくのも楽しいし、自然の中での仕事が好きなのが分かりました。これまでとは違い非日常の風景のなかで好奇心も掻き立てられ刺激になっています。丁寧に指導してくれる先輩のアドバイスを実行し、免許を取ったり、いずれは独立するのが目標です。



(有)秋吉林業
秋吉 龍樹 さん(20)

作業の一つひとつが魅力的 早く先輩に追いつけるようになりたい

南陵高校で畜産を勉強していたのですが、入学する前は林業と動物と迷っていました。とりあえず畜産に入ったものの、先輩が林業の仕事をやっているのを見てやはり林業がやりたくなってしまっ。身体を動かすのが好きなので、林業が一番体を動かすことが出来ると思いつきました。林業全般の知識がなくて大変ですが、肉体労働が好きなので体力的には不安はなく、先輩の教えを守りながら仕事をしていますが、一つひとつの作業が魅力的ですね。初めて木を伐倒した時の感動は忘れられません。これからの目標は技術的にも人間的にも尊敬している一つ上の先輩に追いつくことです。



上球磨森林組合
岩佐 郁弥 さん(18)

のびのびできるのが魅力 重機の免許を取りさらに成長を

海外を4年ほど旅した後、建築や製造業などの仕事をしましたが中々定職に就けずいました。田舎が好きで地元で職探ししていた時、森林組合の募集を見つけました。自然や森林に興味があったので、これはと思い応募しました。実際に従事して、肉体的にきつ大変なこともありますが、なにより「のびのびできる」というのがいいですね。デスクワークや工場などと違って開放感もあり、山がきれいになっていく姿にやりがいを感じます。空気も良いしお腹がすくので飯も美味しいですよ。これからは先輩からの安全第一の指導をさらに定着させ、重機の免許を取ったりしてきたいですね。



玉名森林組合
深浦 雄明 さん(35)

安全第一で仕事進めながら 傑出した林業技術を身に付ける

前職は自動車の整備士をしていましたが、その時から転職を考えていました。今いる会社の社長が親戚で、賃金も前の会社よりも良く、林業に関する知識は全くなかったのですが、旧坂本村出身で子どもの時から山に触れ林業という仕事に不安はなかったの思い切って飛び込みました。仕事は身体を使うことで思ったよりきつかったのですが、運動不足にならず健康的になったのは良かったですね。ご飯も美味しく早寝早起きにもなりました。先輩からは、例えばチェーンソーは右ではなく左において動かすなど安全第一の指導を受け、習熟を進めています。なにか傑出した林業技術を持ちたいと思っています。



八代林業技術(有)
鬼塚 裕樹 さん(28)

仕事に対する見方を変えた林業 いつかは独立し自らの山を経営へ

30年間ホテルでの接客業で様々なストレスがたまり、仕事を変えたいという思いがありました。震災を期に(株)農林環境に体験実習で入ると、自然の中での仕事は新鮮でストレス皆無。仕事自体に対する見方が変わり、従事しようと思えました。体力的な辛さは特に感じないのですが、苗木の植え付け時に下刈りや伐採時のこと考慮するなど難しいところもあります。ただ、作業が終わった時の達成感が凄い!見渡す景色や木の経過してきた時間を考えたりと楽しみ方が広がります。山仕事は危険を伴いますが賃金以上に得られるものがあります、ゆくゆくは山を所有し自分で経営することが目標です。



(株)農林環境
草場 重太 さん(52)

ストレスのない仕事に満足 さらなる技術の向上を目指す

製造業の工場に勤めていたのですが、ストレスが多く転職を考えていた時に現在の会社の先輩に誘われました。林業従事者育成基金を通して入社し、実際仕事を始めてみて夏の作業などきついこともありますが、木を伐ることや森の中に入っていくことなど楽しさもたくさん。機械免許も持っていることもあり、操作上の達成感もあります。新しいことをすることで不安もありましたが、自分の体を資本として何でもできることがこの仕事の魅力です。人間関係も良くなり、自然の中で仕事することで四季を感じるようになりました。これからは機械技術の向上と、新しい重機も扱ってみたいですね。



(株)大津技研
合志 和也 さん(40)



時間も規則的でストレスフリー 自分の存在が役立つ立場になれば

熊本市内で会社勤めをしていたのですが、父親が亡くなりその後の整理をやっているうちに、祖父母が五木村出身(祖父は元村議員)で、以前から山には興味を持っていたので、林業は人が減っているし、自分の存在も役に立つと思い、林業の道に進むことにしました。初めてなので全て楽なことではなく、賃金も高くはないのですが、前職のように時間が不規則だったりストレスが溜まったりすることもありません。仕事後の山の綺麗さ、上手くできた時の達成感はたまらないですね。なにより体も健康になりご飯が美味しいです。これからも技術力を高めればは起業し森林経営するのが目標です。



五木村森林組合
佐藤 祐介 さん(37)

先人との引継ぎが感慨深い 森の歴史を肌身に感じられる仕事

畜産関係の会社から転職しました。祖父が営林署勤務で故郷も山の近くで山仕事には興味があったんです。ハローワークで検索し社長の考え方に共感し就業しました。仕事は班で動きチームワークも必要ですが、基本作業は自己責任なのでまず安全第一で自己管理をしっかりしなくてはならないことを教えられました。ただ景色も良く四季の美しさを感じられフィールドが大きいので達成感もあります。3~40年生の森を見ると、先人はよく植えたなと思いますし、その木を伐採した時にはこの森の歴史を感じ感慨深いものがあります。若い人と一緒だと気持ちも若くなるし、体力の続く限り頑張りたいですね。



園田農林(株)
中嶋 雄一 さん(61)



YOSHINOBU MORITA
(有)岩本木材
森田 義信 さん(38)

全く知らない世界に入って やることなすことが面白く楽しい

以前やっていた車の整備、解体の仕事が賃金も安く転職を考えていたところに、現在の会社の専務が友人で、話を聞いて転職することにしました。しかし、まったく何も知らない状態だったので、全てを覚えることが大変でした。伐採が主で、山に入ると危険と隣り合わせで十分な注意が必要など戸惑いも多かったです。ただ逆に何も知らなかったので、やることなすことが面白く楽しいですね。先輩からは特に安全第一を言われています。雨中作業での立つ位置など細かなところまで指導してくれます。事故に気を付けながら全て仕事をできるように、チームリーダーになることを目標にしています。



TETSUYA MICHITA
(株)浦野林業
道田 哲也 さん(54)

林業マンはプロフェッショナル 独立開業に向けて日々奮闘

自衛隊を退職後、祖父が森林を所有していたので、自家山林を経営するために、林業技術を身に付けようと、先に入社していた弟の世話もあってハローワークを通して林業に従事することになりました。自衛隊の時と比べて、林業は現場によって違いがあるために、マニュアル通りにはいかず、自己による安全管理が大事です。先輩からは一つひとつの動作を教えてもらいそれを実行することで安全に作業できるようになってきました。毎日全てが教訓の日々で、自衛隊を経験した上で、林業マンはまさにプロフェッショナルだと思っています。今後の目標は自分の山を相手に独立開業していきたいと思っています。

念願だった林業の仕事に 能率を上げ一人前の技術者に

小学校の文集の中に木を植えたことを書いていて、大きくなったその木を見て、森林に関する林業に関する仕事に興味を持ちました。自然体験を子供の頃からしていたので山の中に入って行くことは好きでした。農業高校のバイオ工学科を経て森林組合に入り、念願だった仕事に就くことができました。体力的なものは想定していましたが、間伐する際にどんな木を切るのか、倒す方向はなど考えることは多く難しい部分もあります。しかし、自分の仕事で山が綺麗になっていく達成感はたまらないですね。これからは全ての作業で能率を上げ早く一人前の林業技術者、技能者になっていきたいです。



RYUSHO KAWAMOTO
菊池森林組合
川本 龍昇 さん(18)

映画「WOOD JOB!」がきっかけ リーダーとなる技術を身につけたい

山奥の村で林業に従事することになった都会育ちの若者を描く日本映画「WOOD JOB!」を見て林業は面白そうと思い、矢部高校林業科卒業と同時に林業従事者育成基金の1年間の研修を受けて就業しました。最初肉体的な大変さもありましたが、仕事をしているうちに体力もつき慣れました。間伐などでチェーンソーの木への当て方など難しく大変な部分もありますが、狙ったところに倒せた時は達成感がありますね。自然に囲まれ四季の移ろいを感じることができるとは賃金の額より林業ができることが嬉しいです。これから自分より若い世代にも教えていけるように技術を身につけていきます。



SHUNYA HONDA
緑川森林組合
本田 隼也 さん(19)

自分の時間が持てるのも魅力の一つ 重機を使った作業道の仕事が目標

元々警備会社に勤めていたのですが、自分の性格にどうしても向かないこともあり転職を考えていました。以前から林業のことは知っていたので、山の仕事をしてみたいと思い、ハローワークで探し就職しました。山での仕事は傾斜もあり、最初は足元もおぼつかなく転倒したりしていましたが、体力が付き徐々に慣れて達成感も感じるようになりました。自然の中で働けることはやはり魅力的で、山が綺麗になっていくところを見るのは嬉しいですね。また、ほとんど残業が無いので自分の時間がしっかり持てるのがいいですね。これからは作業道を作るような仕事もやってみようと思っています。



KOUJI NAKAMURA
天草森林組合
中村 浩二 さん(42)



GINJIRO YASUNAGA
安永興産(有)
安永 銀仁郎 さん(23)

技術向上や知識の取得に励み 立派な後継者を目指していきたい

父親が経営する会社が土木と並行して林業をやり始めたのですが、私は専門学校で介護福祉士を目指していました。ただ自分に合わずガソリンスタンドに3年務めましたが、父から林業従事者育成基金の研修を教えてもらい林業に入りました。経済的にはガソリンスタンドよりも豊かですね。初めてのことはばかりなので全てにおいて難しいことばかりですが、体も慣れてきて面白くなってきました。これからはトラックの大型免許を取ったり、木材市況も勉強していきたい。最終的には自分で山を買って全ての事に関わり立派な後継者になりたいですね。若い人も採用して会社を大きくしていきたいです。

機械の普及で体力的にも楽に 愛着のある会社を大きくしていきたい

会社勤めのストレスが嫌だった時に、高校（農業科）からの友人に林業従事者育成基金の1ヵ月研修に誘われて、林業の面白さを知り就業しました。広葉樹を伐採するので枝張りが大きく思い通りいかないところもありますが、生産したものが良く売れると嬉しいですね。ストレスなく自分の時間が取れるのがこの仕事の魅力で、周りの景色を含めて帰郷してよかったと思います。体力的には機械も普及していると思うほど体力は必要ありません。安全第一で仕事をするので危険性も低いと思います。仲間3人でスタートさせた会社をもっと大きく、そして技術や情報を発信していきたいです。



山都興産
今村 涼太 さん(27)

仲間への思いやり、気持ちを考える 心が綺麗になる林業という仕事

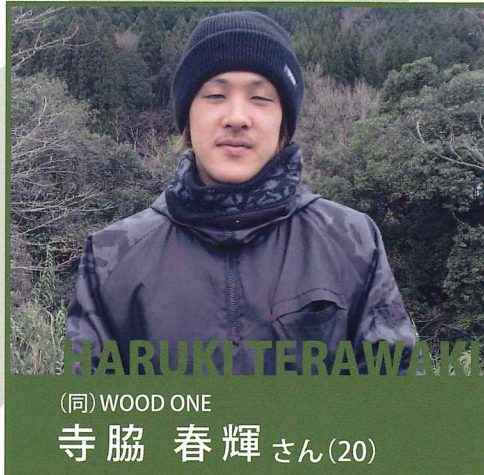
父が林業会社を立ち上げたので興味はありました。営業の仕事に行き詰まりを感じていた頃、林業従事者育成基金の研修を紹介され受講し林業の面白さを知りました。それから就業しましたが、初めてのことで順序立てての作業工程を作るのが分かりにくかったり、重機を遊ばせないようにする段取りが難しかったり。ただ、現場が終わった後に山主に喜ばれると達成感があります。また、サラリーマン時代には無かった「心が綺麗になる」ことも。山では開放感があり仲間への思いやりや気持ちを考えるようになるからだと思います。これからは製材、運送や生産業も含め木材関連産業を勉強していきたいです。



桧丸(株)
山辺 龍之介 さん(25)

特に興味もなく始めた林業 達成感と心地よさが魅力

高校中退後にガソリンスタンドでアルバイトをしていましたが、屋外の仕事がしたくてハローワークで求人募集を探し、特に林業に興味があったわけではないのですが、会社の規模と屋外(山)での仕事ということで就業しました。仕事をこなしていく内に、班作業なので仕事終了時の山が綺麗になった時の皆でやり遂げたという達成感を感じたり、お互いの仲間意識が強くなり、林業の仕事にもだんだん興味が出てきました。山に入ると風が気持ちいいというのも良いですね。安全第一に、健康で作業を続けながら、伐採だけでなく幅広い林業の仕事をしていきたいです。



HARUKI TERAWAKI
(同)WOOD ONE
寺脇 春輝 さん(20)

能率的に仕事をこなし さらなる技術向上をめざしたい

製材所に勤務していた前職の頃から、製材よりも素材の元である山のことに興味がありました。賃金も以前より高く、地元でもあるし家族のこともあり転職することにしました。祖父が森林組合に勤めていたのは、林業に興味をもつ源になったと思います。実際に従事してみて、天候に左右されることや伐採の技術など大変なこともあります。予定通りの工程を効率よく作業したり、現場終わりの広大な空間を見ると達成感もありやりがいを感じています。これからは重機の免許を取って能率的な仕事をする事、先輩に近づくように技術力を上げリーダーになることを目標にしています。



親林業
大瀬 浩幸 さん(41)

料理人から林業の道へ 自分の経験を後輩に伝えたい

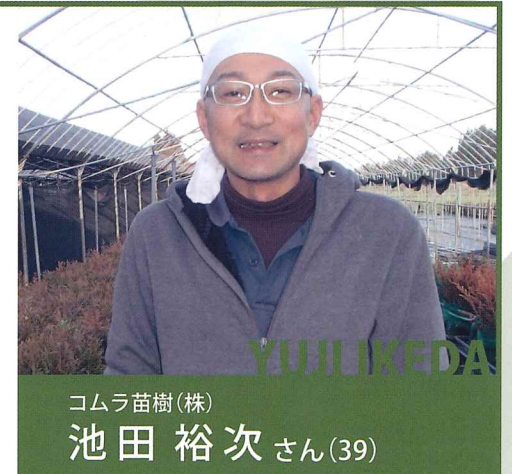
高校は食品化学科を卒業し、料理人を目指して修業していましたが、体を動かすのが好きで、林業で働く同級生から誘われ就業しました。何もかも初めてでチェーンソーの扱いなど最初は怖かったですが、経験を積むにつれ上達し、木を思う方向に倒れてきた時は嬉しかったです。伐採後の山が綺麗になった後を見ると、よくやったなーと感慨深いものがあります。未熟なので先輩からは経験を元に指導してくれ注意してくれます。自主性を重んじてもらえるのでストレスもなくかえって自分で注意するようになりました。今後は自分の立ち位置を認められ、技術を後輩に伝えていきたいです。



相良村森林組合
中嶋 希碩 さん(20)

作業後の山の綺麗さに達成感 残業がなく自分時間が使えるのも魅力

高校の林業科卒業後に県外で運送業の仕事に就いていたのですが、36歳で帰郷しハローワークで見つけた苗木生産の会社に入りました。入社後に会社の指示で山の仕事をすることになり現在に至っています。伐採の時に思った方向に倒れないなど、自らの技術の向上もありますが、次の作業をする人のことも考えて仕事をしなければならないなど様々な視点からの考え方が必要です。ただ、仕事を終えた時の山の綺麗さはまさに「やった」という達成感があります。基本残業がないので時間が自由に使えるのも林業の魅力ですね。安全第一、資格取得と伐採技術を向上させ一人前の林業技術者になるのが目標です。



コムラ苗木(株)
池田 裕次 さん(39)

これまでの経験を生かしながら 経営者目線で成長していきたい

漁師や建設業の仕事をしていましたが、林業をしている友人との話から林業は面白そうだ、やってみたいという意識が芽生え思い切って転職しました。鳶の仕事経験があり木の上を歩くのは問題ないですが、伐採自体は木の1本1本の個性があり難しいですね。知らない世界だったので全てが新しく、技術の向上や伐採後の山の美しさなど達成する楽しさがあります。なにより家族の応援もあり、子どもに仕事の成果を見てもらって凄いなと思ってもらったのは格別です。これからは機械免許を取り作業効率を上げたり、木材価格など市場も考えながら常に経営感覚を持って成長していきたいです。



(有)大川林業
諫山 浩介 さん(37)

興味があれば迷わず林業の道に！ 目標は会社を継ぐ人材になること

小さい頃に父の手伝いで植林をした時に、こういう仕事もあるんだと思ったのが林業を知るきっかけでした。高校卒業後、都会に出るよりも地元に残った方がいいと思い白石林業(祖父、父の会社)でアルバイトをし、その後林業従事者育成基金の1年の研修を受け会社に入りました。仕事は運材が主で特に難しいことはありませんが、伐採や植え付けでも感じなかったように思います。今林業を目指す人は、興味があるなら迷わず入ってきた方がいいと思います。体力的なことは身体が慣れるので安心です。今後もずっと続けていくことになるので、経営的なことも含め勉強し、後を継げるよう頑張りたいです。



白石林業
白石 涼 さん(21)